

レジメン名

panitumumab

出典 ベクティビックス適正使用ガイド第3版

実施部署区分

<input checked="" type="checkbox"/> 入院	<input checked="" type="checkbox"/> 外来	<input type="checkbox"/> 処置
--	--	-----------------------------

対象疾患

大腸がん
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 補助療法(術前・術後) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

投与減量の基準

その他	皮膚障害、間質性肺疾患、下痢、低Mg血症に注意		

1クール期間
(次のクールまでの標準期間)

総クール数

投与中止の基準

その他	Grade3以上の皮膚障害発現時は投与延期。 6週間以内にGrade2以下に回復した場合は、1段階減量して再開。減量の目安は以下の通り。 6mg/kg→4.8mg/kg→3.6mg/kg→中止		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
パニツムマブ	6mg/kg	NS100mL	60分	d1
皮膚障害予防 保湿剤:ヘパリン類似物質油性クリーム0.3% 抗生物質:ミノサイクリンカプセル(100mg) 2cap 分2を6週間。その後の継続に関しては主治医の判断。 対処法(Grade2以下) 頭皮:アンテベートローション(strongのローションタイプが推奨) 顔面:ロコイド(medium) 体幹および四肢:マイザー(very strong)またはリンデロンV(strong) Grade3以上は皮膚科コンサルト 出典:J Clin Oncol 28:1351-1357,2010 ベクティビックスに関連する皮膚障害と対処法				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
①生食50mL(ルート確保用) ②ベクティビックス6mg/kg+生食100mL(60min) インラインフィルターを用いて投与 ③生食50mL(フラッシュ用)